

2012年度・2013年度 全国壮年会連合活動計画

《活動方針》

全国バプテストの壮年が「教会形成を担う」と「伝道者養成の業」に参加することを旗印に掲げ、壮年同士の交流をはかる中からお互いが触発され成長し、主が示された働きのために助け合い、祈り合い、献身的に仕えることを目指します。

上記活動方針を実現するために以下の施策を展開する。

尚、施策には、2012年3月1日「全国壮年会連合活動に関するワーキング・グループ」(以下WG)により答申された『今後の全国壮年会連合活動について』の内容を踏まえ、2012年度をその実現のための第一歩と位置付け反映する。

I. 全国壮年大会の開催

1. 第47回(2012年度)全国壮年大会の開催

全国壮年会連合規約第5条(2)に則り、中部地方連合壮年のご支援により開催する。

開催日時	2012年8月24日(金)12:00～25日(土)12:00
会場	今池ガスホール 及び 日本バプテスト名古屋キリスト教会
主題と講師	「われここに立つ」 田口昭典牧師(金沢キリスト教会) <聖書> あなたは、適格者と認められて神の前に立つ者、恥じるところのない働き手、真理の言葉を正しく伝える者となるように努めなさい。(二テモ 2:15)
大会運営担当	中部地方連合壮年会
取り上げる課題	次世代を担う人材育成～後継者育成(若者の育成)

- 詳細は別途大会案内参照
- 大会プログラムの中で、2012年度全国壮年会連合総会を開催する。

2. 以降の全国壮年大会の計画と準備

① 確定している大会運営担当

- 2013年度 福岡地方連合壮年会
- 2014年度 中四国地方連合壮年会

上記2地方連合壮年会とは、充実した大会となるよう役員会として十分な協議を求め、準備を進める。

② 今後の全国壮年大会開催の検討

現行は総会運営担当を関東圏3地方連合壮年会とその他の地方連合壮年会が隔年で担ってきたが、WGの答申を考慮し、以下の開催方法に改めるべく関連地方連合と協議を進める。

- 隔年で担当する関東圏3地方連合壮年会に福岡地方連合壮年会を加え、4地方連合が隔年開催を担う。
- 関東圏3地方連合壮年会と福岡地方連合壮年会が運営を担当する大会は2泊3日を基本とし、壮年同士が建設的に交流できる機会を十分に確保する。合わせて総会必要時間を確保する。
- その他の地方連合壮年会が運営を担当する大会の基本は1泊2日となるが、可能な限り開催時間が確保できるよう、開始・終了時間を弾力的に設定する。
- 毎年の大会プログラムに、神学校献金推進委員主導で神学校献金推進の課題を参加者全員が共有できるための時間を設ける。
- 参加費プール制について効果の検証を続けて行く

II. 伝道者養成の業への参与

1. 神学校献金活動の推進

25名の神学生を支えるための指標3,000万円達成に向けて、以下の活動に取り組む。

特に2013年度奨学金貸与神学生見通し22名(貸与必要額:2,568万円)を見据えて、神学校週間を契機に働きを強化する。

① 神学校週間(2012年6月24日～7月1日、2013年6月23日～30日)でのアピール

- 神学校週間における活動と神学校献金への協力依頼文書の作成送付(全教会・伝道所宛)
- ポスター・チラシ・献金封筒等活動ソールの作成送付(全教会・伝道所宛)
- 2011年実施のアンケートコメント集の配布と意見交換(於5月代表者会議)

- ② 各教会での神学校献金推進活動の紹介
 壮年連合ニュースの記事(寄稿)として紙面の位置を定め紹介して行く。
- ③ 教会ごと個別アピールの実施
 2011年度実績から大幅に実績に増減のあった教会について、事由を確認し必要なら個別のアピール活動を行う。
- ④ 神学校献金推進委員働きの明確化
 神学校献金推進委員が募金活動に集中して行えるよう、全国壮年会連合が管掌する範囲で地方連合壮年会長との働きの棲み分けを明確にして行く。
- ⑤ 全国の牧師年齢層の実情把握
 現行参考としているデータは2008年5月時点のデータであるが、最新版のデータに更新したい。
 そのために連盟承認のもと全国壮年会主導で調査を行う所存であり、連盟に申し入れし担いたい。

2. 連合立等神学校奨学金制度創設への対応

東京バプテスト神学校より2011年に連盟宛に提出された奨学金制度の創設要請を受け、連盟理事会では九州バプテスト神学校も含め学内奨学金として創設することが妥当であると判断し、現在、諸条件を整備中である。また、その運営に関しては奨学金の原資として神学校献金(年間最大200万円)を充てることとなり、壮年会連合規約細則の改定を含め全国壮年会連合の承認が必要となる。そのため全国壮年会連合は今総会に議題を上程して承認を求める。連盟は、全国壮年会連合総会での承認後、同年の連盟年次総会に上程のうえ議決を経て両神学校に学内奨学金制度に関する規程の策定を求める計画であるが、全国壮年会連合としては現行の西南学院大学神学部学生に求めている遵守項目を、両神学校に求める所存である。そのため、連盟内に編成された「連合立等神学校奨学金制度検討委員会」に大城戸奨学金委員長が加わり実務面の課題・条件等を具申して行く。

尚、本件については昨年実施した神学校週間アンケート回答に「西南学院大学神学生だけでなく東京・九州両バプテスト神学校への支援が必要」との意見が見られるように、「伝道者養成の業」に参与する具体的な活動のひとつと捉え、全国壮年会連合内で幅広く意見を伺いながら実現に向けて取り組みたい。また、現時点では神学校献金を神学生個人への奨学金以外に供する考えはない。

III. 教会形成を担う壮年の働きの推進

壮年が教会の奉仕と宣教の業を主体的に担うことを通じて教会形成に参与できる。そのことを支援する仕組みを以下の通り提供する。

1. 全国の壮年同士の連帯強化と活性化

- ① 各教会壮年会活動の紹介
 壮年会連合ニュースを基幹にして各教会壮年会の活動を通して受けた恵みを紹介して行く。
 活き活きと活動する壮年の姿を通して喜びを分かち、お互いに触発されて行くことを目指す。
- ② バプテスト壮年ネットワークの構築
 支障のない範囲で壮年個人に直接情報を届けるためのネットワークを構築する。
 これにより必要な情報が滞留することなく壮年個人宛に届けることが可能となり、全国の壮年が課題を共有し、祈りを合わせることができることとなる。
 第一歩としてEメール・アドレスリストの生成から始めるが、当面は役員会から教会・壮年個人宛に発信するルートに限定して運用する。
 アドレス管理は個人情報保護の精神を生かし全国壮年会情報提供以外に使用することはしない。
 運用後、壮年個人の都合によりリストから退出することは自由であり、その仕組みを作る。
- ③ 壮年が所有する賜物の紹介
 壮年が職場やいろいろな場所で培った賜物を紹介し、活用する場を提供するために人材バンク機能を構築する。その賜物を紹介し活用することで、単に実利的な効果ばかりではなく、壮年同士の交流の輪が広がることと、主の業に参与していることが実感でき信仰の醸成に寄与することを目指す。

2. 全国壮年の情報の共有と活動ツールとして役割強化

- ① 「壮年会連合ニュース」のリニューアルと発行
 従前通り年5回発行するが、掲載記事の性格を明確にし、視覚に訴えるようレイアウトを工夫する。特に、役員会・奨学金委員会報告を定期的に掲載することで、全国壮年会連合活動のアピールをして行く。このことにより各教会に神学校献金、全国壮年会連合会費の必要性を認識していただくことを期待している。

＜壮年会連合ニュース2012年発行計画と紙面構成＞

発行月	号	1面	2面 寄稿	3面 紹介*	4面 発信
		巻頭言	神学校献金推進	壮年活動/賜物	役員会・委員会
2012/4	71	大城戸会長	松田兄・久賀兄	(総会、選挙)	WG、献金
7	72	大会実行委員長	神学校献金推進者と神学生からの寄稿	教会壮年会活動の取材記事と賜物紹介の連載記事	役員会・委員会報告
9	73	連盟、西南神学部、連合立等神学校からの寄稿			総会関連速報
12	74				役員会・委員会報告
2013/2	75				委員会報告

※紹介記事の性格： 壮年活動→取材記事。賜物3回程度の連載記事

② ホームページ

Ⅲ. 1. ②バプテスト壮年ネットワークの構築に合わせて仕組みの変更を検討する。

IV. 2012年度全国壮年会連合体制(関連役員・委員)

◇ 地方連合壮年会長・神学校献金推進委員(敬称略)

地方連合	壮年会長(教会)	神学校献金推進委員(教会)
・北海道	鈴木 一弘(旭川)	望月 亘(札幌)
・東北	山口 宜由紀(山形)	中山 晴久(仙台)
・北関東	石井 努(太田)	飯野 實(宮原)
・東京	山田 誠一(大井)	山田 誠一(大井)
・神奈川	川勝 高宏(相模中央)	池見 拓(相模中央)
・西関東	川井 高雄(松本蟻ヶ崎)	須河内 彰(浜松)
・中部	山川 康夫(名古屋)	山本 長邦(名古屋)
・大阪	田矢 廣司(堺)	酒井 俊一(北大阪)
・中四国	松田 裕二(道後)	石倉 央(広島)
・北九州	菊岡 義修(東八幡)	梅木 芳昭(大分)
・福岡	小林 鐵志(野方)	石田 孝(姪浜)
・西九州	池田 行伸(佐賀)	木村 幸治(長崎)
・南九州	瀧下 郁男(鹿児島)	曾根 基雄(児湯)

◇ 役員会・委員会

役員会・委員会	氏名(教会・担務)	
・規則改定委員会	鈴木 武史(花野井)	春日 純二(川崎)
	野口 正俊(志村)	
・奨学金委員会	大城戸 一彦(西川口・長)	伊東 信吉(大富・返還)
	高良 研一(古賀・広報)	原田 陽一(高崎・記録渉外)
	山本 長邦(名古屋・会計)	
	鳥飼 好男(市川八幡・連盟理事)	片山 寛(福岡・西南学院大学神学部長)
・監査	内藤 崇(西川口) ※1	※2
・役員会	大城戸 一彦(西川口・会長)	伊東 信吉(大富・副会長)
	井伊 肇(日立・事務局長) ※3	岩ヶ谷 吉範(大井・財務) ※3
	春日 純二(川崎・書記)	
・事務所職員	豊永 義典(川崎)	戸井田 敦子(西川口)

※1 昨総会から人選を役員会に付託された。今総会で承認を得る。

※2 昨総会にて選出された就任予定者の辞退により、改めて選挙により選出する。

※3 昨総会時点での推薦者未定及びその後の就任予定者辞退により、今総会で改めて承認を得る。

V. 活動スケジュール

—— 2012年度 ——		
・第1回役員会		4月14日(土)
・地方連合壮年会長等代表者会議		5月18日(金)～19日(土)
・第1回役員・奨学金委員合同会		6月16日(土)
・神学校週間		6月24日(日)～7月1日(日)
・第47回全国壮年大会・総会(中部)		8月24日(金)～25日(土)
・第2回役員会		10月13日(金)
・第2回役員・奨学金委員合同会		1月12日(土)
・第3回役員会		3月2日(土)
—— 2013年度 ——		
・第1回役員会		4月13日(土)
・地方連合壮年会長等代表者会議		5月17日(金)～18日(土)
・第1回役員・奨学金委員合同会		6月15日(土)
・神学校週間		6月23日(日)～30日(日)
・第48回全国壮年大会・総会(福岡)		8月23日(金)～24日(土)
・第2回役員会		10月12日(金)
・第2回役員・奨学金委員合同会		1月11日(土)
・第3回役員会(新旧合同)		3月1日(土)

以上